

ANNUAL REPORT 2024
HIRAKATA CITIZENS
EMPOWERMENT CENTER

特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター
年次報告書

2 0 2 4

あいさつ

平素より当法人の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

この度、2024年度の年次報告書(アニュアルレポート)を作成しました。ご高覧いただけますと幸いです。

2024年度は、関係各位のご理解・ご協力のもと、無事に事業を進めることができました。

特に「情報発信」に力を入れて、プレスリリースの実施やアニュアルレポート(年次報告書)の作成、公式LINEの運用、会員及び登録団体ではない市内NPO法人への情報提供などを実施しました。今後も、当法人の取り組みをより多くのNPO・市民等に知っていただくべく情報発信に力を入れて取り組んでまいります。

また、「相談日の定例化(相談ができることの明示)」や「利用についての説明会」を開催し、NPO・市民活動に関する相談をしやすい環境づくりを目指した工夫を行いました。

事業の推進とともに、事業全般についての見直しにも取り組み、その結果を2025年度事業に反映をさせています。

なお、法人の運営においても適正かつ時流に合わせた運営ができるよう取り組みました。

2025年度につきましても、各事業を通じて、中間支援組織としての役割をより一層果たしていきたいと考えています。

結びにあたり、皆様におかれましては、引き続きのご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
理事長 渡邊 宏二



目的－ミッション

市民活動団体の支援事業と、市民が市民活動へ参加する支援事業を行い、社会全体の利益増進に寄与することを目的としています。

『人と人とが支え合い、心豊かに共に生きるまちの「わ」を市民の知恵と活力を結集した市民活動の面から広げることにより、より良い市民社会をめざします』

事業内容

サブリ村野 管理運営事業	サブリ村野受付事業 貸室受付業務など
NPOサポート 事業	情報発信と管理事業 WEBサイトの管理運営、情報紙の発行、ひらせんデータバンク など 学びの広場事業 NPO講座、マネジメント講座、市民講座、サブリ村野学校の開催 防災災害支援事業 防災小学校事業、防災講座、被災地支援活動 など 多様な人たちが地域課題などを考える場の事業 若者が行う社会体験活動のサポート(ボランティア体験) まちづくり井戸端会議 など 多様な主体との協働事業の企画・調整・実施事業 相談・ネットワークルーム管理事業 相談対応、ネットワークルーム管理運営、図書管理、チラシ配架 など
法人自主事業	フェスタ事業 地域貢献NPOサポートファンド(ふれあいファンド) 備品貸出、印刷サービス 講師派遣 ソイチャレ 備品管理代行 各種ネットワークへの参画

夏・春 ボランティア体験

プログラム実施期間 夏：2024年7月13日(土)～8月25日(日)

春：2025年3月 8日(土)～4月 5日(土)

主催・企画運営

枚方市、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

体験できるプログラム ※2024年度は、夏に26プログラム、春期に28プログラムを実施

【自然や生物と関わる】

森林や遊具の整備、清掃活動、
生き物のお世話、農作業 など

【子どもと関わる】

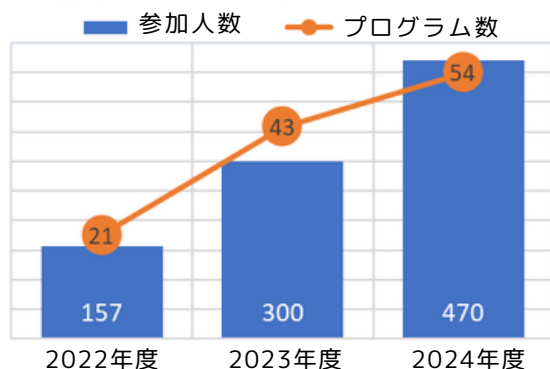
学習支援、絵本の読み聞かせ、
子ども食堂、駄菓子屋のお手伝い など

【地域や文化と関わる】

夏祭りイベント、おもちゃの制作や修理、演劇、リハビリ道具の製作 など



参加人数とプログラム数の推移
(夏・春 合計数)



※ 2024年度、おおよその参加分布は、
中学生4割、高校生5割、大学生など1割。

夏休み・春休みの時期に合わせて実施する「ボランティア体験」は、若者がNPO等の活動を体験するプログラムです。

この取り組みにより、若者がまちづくりや市民活動を身近に感じ、将来の進路選択や地域との関わりを持つ契機となること、また、ボランティアを受け入れる団体に対して、参加申し込みの対応や活動を周知するためのサポートをし、将来の枚方や地域社会を支える人材の育成にも貢献しています。プログラムを通じて世代間交流を促進することで、参加者と団体の双方が有意義な経験や成長、気づきを得られる環境づくりを目指しています。



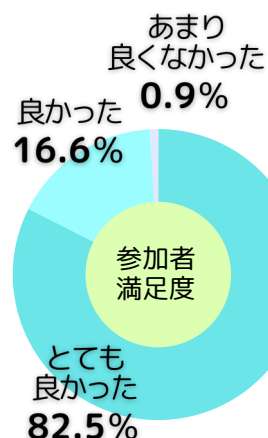
参加者・プログラム実施団体の声

参加理由（選択・複数回答可）

参加者の、6割が「ボランティアに興味があったから」と回答。他に「夏(春)に普段と違うことをしてみたいと思ったから」「日ごろから何かしたいと思っていたが、きっかけが無かったから」という理由も多かった。「ボランティア活動証明書が発行されるから」や「入試や就職で有利になるといったから」という回答も多い。

保護者は、7割以上が「お子さまが参加したいと言った」と回答。「安心してボランティアを体験させられると思った」という理由も多かった。

参加者



感想

- ボランティアの人たちがとても親切に教えてくれたりしてわかりやすかった。
- 実際に見たり聞いたり触ったりして体験することができたので、楽しみながら学ぶことができました。

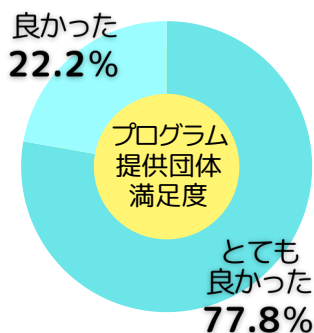
参加者



今後、体験したい(させたい)活動や取り組み

イベントなどの企画運営・図書館司書体験・収穫等農業に関する体験・通訳などのボランティア・山の整備・音楽や芸術活動・家具制作 他、現在の興味あることや将来の仕事につながる体験

参加者



感想

プログラム提供団体

- 夏のボランティアに参加してくれた学生さんがリピート参加してくれたら、実施後に開催されたイベントに遊びに来てくれた学生さんがおられて嬉しかったです。
- ボランティア体験はいいのですが、あまり多く受けると、こちらの教えるメンバーが少なく大変です。
- 枚方市の皆さんに少しでも周知出来たこと、参加してくれた参加者さんにも活動の意味を知ってもらえたことが嬉しかったです。



サプリ村野 NPOフェスタ2024

開催日時 2024年10月20日(日) 10:00～15:00

主催 サプリ村野NPOフェスタ2024実行委員会
特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

NPO・市民活動団体など多くの出展団体が、発表・展示・体験などを通じて、普段の活動を紹介し、学校や行政、企業、地域の方々と交流する催しです。

2024年度は「枚方を楽しもう!」をテーマに、37団体(登録団体28、サプリ村野入居団体2、学校・行政関係4、その他3)が参画しました。当日は43出展が実施され、来場者数は前年度を上回る3,300人となりました。

会場の周遊を促す取り組みとして、事務局企画のクイズラリーと抽選会を開催。来場者が展示や景品から出展団体を知る契機になり、出展団体には活動PRの場を設けることができました。



参加者・参加団体の声

来場者

- また来たいです。いろいろな活動が知れて良かった。
- 皆さまの活動がますます発展しますように。



参加団体

- 団体のことを知ってもらう機会をいただいた。
- 地域の方々と交流できた。
- 他団体さんとのつながりが作れ、コミュニケーションが取れた。



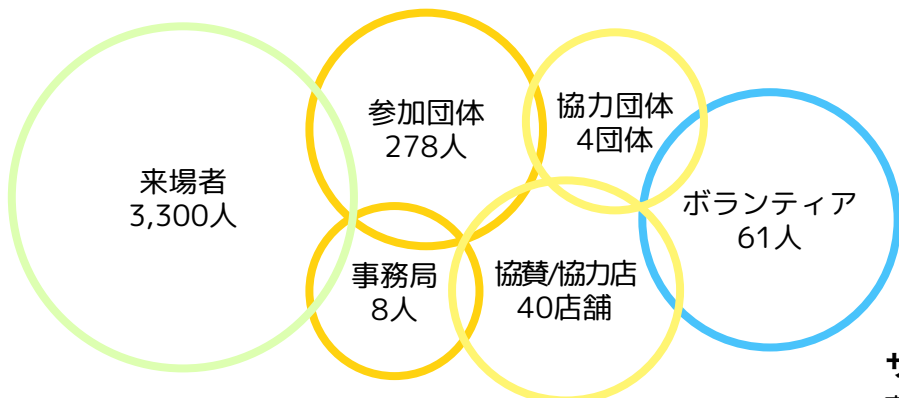
ボランティア

- 普段できないことを体験できた。
- いろんな活動や素敵なお店に出会えた。



大好評だった抽選会

フェスタがつなぐ人たち



協力団体…ボランティア協力、ポスター掲示、チラシ回覧
協賛、協力店…協賛金、ポスター掲示

ボランティアによるバルーンアートも登場!



サプリ村野NPOフェスタ2024実行委員会

実行委員長 : 竹安 庄平

副実行委員長: 谷山 佐枝子、津熊 友子、平井 亜希子



学びの広場 (研修事業)

学びの広場事業では、NPO基礎講座をはじめ、多くの市民活動団体向け、市民向けの講座をしました。13種類17講座を行い、参加者数はのべ132人です。また、団体に講座を開催する機会を持ってもらう取り組みである「サプリ村野学校」事業も、実施しています。

2024年度に開催した講座

NPO基礎講座

NPO法人格取得のための講座

夏からはじめる！ボランティア

サプリ村野NPOフェスタ2024 ボランティア説明会

春のボランティア交流会～見たい聞きたい話したい～

助成金講座

ぶちサロンはじめてのGoogleフォーム体験会

Google活用講座①（フォーム）

Google活用講座②（サイト）

Google活用講座「Googleフォーム実践編」

Canvaで簡単！チラシづくり①

Canvaで簡単！チラシづくり②

みんなの防災①・②

5/18(土)・12/14(土)

5/18(土)・12/14(土)

7/13(土)

9/14(土)

3/20(木)

9/14(土)

6/21(金)・3/7(金)

7/13(土)

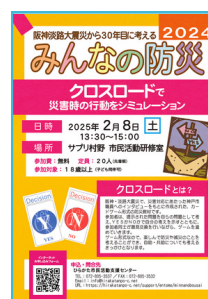
8/10(土)

3/15(土)

1/11(土)

1/25(土)

6/18(火)・2/8(土)



「サプリ村野学校」事業

「サプリ村野学校」では、NPOや市民活動団体が、サプリ村野を会場に、さまざまな講座や教室を開催しています。この取り組みでは、「会員やメンバーを増やしたい」「自団体の活動を多くの人に知ってほしい」などの目的を持つ団体の、講座やワークショップの実施を支援します。

情報発信と管理事業

市民活動や市民活動団体に関する情報発信を行っています。WEBサイトでの日々の情報提供や「ひらせんデータバンク」で最新の登録団体情報、助成金情報、図書情報を公開しています。SNSでは、Instagram（インスタグラム）Facebook（フェイスブック）X（エックス）を運用しています。また、今年度からLINE（ライン）のアカウントを公式アカウントへ移行させましたので、各ツールを連携させ、更に発信力を高める準備が進みました。

NPO・市民活動団体の情報発信を支援する方法として「ひらせんナビ」という情報紙を毎月発行しています。



ひらかた市民活動支援センター公式LINEスタート

ひらせんや、枚方市内で活動する市民活動団体による、講座やイベントの情報を発信中。LINEの友だち追加をするだけで、誰でも簡単に情報を手に入れることができます。



防災災害支援事業

防災に関する事業と被災地への継続的な支援に取り組んでいます。

2024年度は能登半島地震・豪雨の被災地に支援金を送りました。

- 出張防災講座 9件
- 防災講座 2講座
- 被災地支援活動(物産販売・写真展) 3件
- 防災イベントへの参加 2件
- 交流会(意見交換会) 1回

防災講座では防災トイレの使用実験が好評でした



協働組織、委員会

参画団体

ひきこもり等地域支援ネットワーク会議
枚方フェスティバル協議会
ひらかた環境ネットワーク会議

登録・協働中間支援組織

KNN・北摂ネットワーク
日本NPOセンター
大阪NPOセンター
大阪ボランティア協会

審議会等への委員派遣

枚方市社会福祉協議会
市民ふくしチャレンジ基金選考委員会
枚方市技能勤労者表彰審査会
枚方市人権尊重のまちづくり審議会
枚方市地域密着型サービス等運営審議会
枚方市男女共同参画推進審議会
枚方市施策評価員

地域貢献NPOサポートファンド (ふれあいファンド)

NPO(市民活動団体)を資金面から支援するため、企業等からの寄付金および賛同者からの賛助金を基にして、2005年度に「地域貢献NPOサポートファンド(ふれあいファンド)」を創設しました。ひらかた市民活動支援センターも当期正味財産増減額の10%を目安に、このファンドへの資金繰入を毎年行っています。これまで地域のまちづくりに貢献されてきた団体に対して顕彰する表彰事業と、新しい市民社会をつくるアイデアに満ちたユニークな企画提案に対して支援しています。

2024年度は、従来の「企画提案型」「活動実績型」と、特別枠「災害支援コース」を募集しました。

1次(書類)と2次(公開プレゼンテーション)審査を経て、団体を選び贈呈式を行いました。

○ 企画提案型

NPO法人 KEY

『人と地域がつながる居場所事業』

アートクラフトFirst-step

『(アートクラフト活動を通じてわかる)
発達障害児・不登校児・保護者支援』

○ 活動実績型

アートクラフトFirst-step

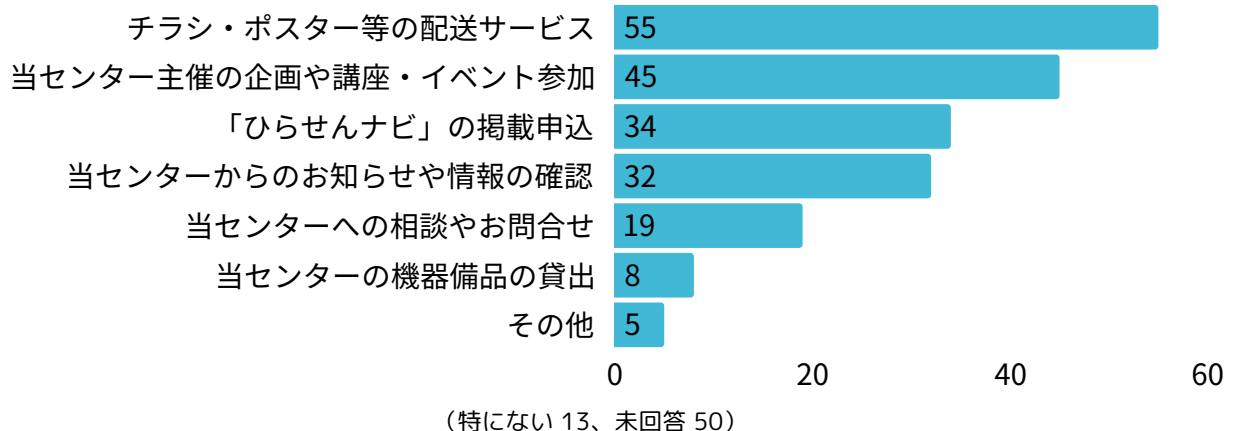
※「災害支援コース」は応募団体なし

登録団体サポート

ひらかた市民活動支援センターには、法人格の有無に関わらず、NPO、市民活動の団体が登録し、さまざまな利用をしています。登録後に利用できるのは、情報誌「ひらせんナビ」やWEBサイトへの情報掲載、チラシ、ポスター、機関紙などの配達、備品の貸出、拡大印刷などです。

2024年度登録団体数 152団体

○ 2024年度利用状況アンケート結果 (選択・複数回答可)

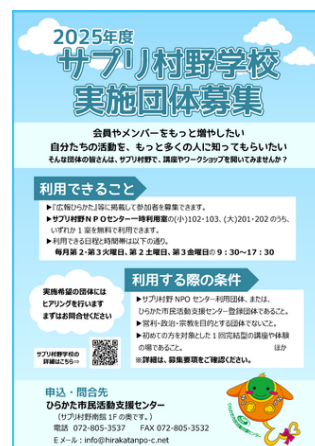


- その他は、寄付物品の受取、イベント後援依頼などの意見があった。

講座アンケート結果(サプリ村野学校事業)

サプリ村野学校事業では、まず実施希望の団体を募集し、ヒアリングを行い、団体の考えている目的を達成する実施内容を一緒に具体化し、実施概要を提出してもらいます。その後、講座内容を広報し、ひらかた市民活動支援センターで参加者の受付をし、当日、団体に実施してもらっています。講座等の企画へのアドバイス、会場の使用予約、広報紙への掲載や参加者の募集など、サポートも豊富です。開催後には担当者との振り返りを行い、普段の団体活動につなげています。

2024年度は、21団体による計36講座を企画し、そのうち2講座は参加者がいなかったため中止になりました。参加者は330人、アンケート回答者は271人です。



参加者

講座満足度

5段階で評価してもらい、平均は4.67でした。

申し込みのきっかけ

どのような媒体がきっかけとなり申し込んだか答えてもらいました。「広報ひらかた」223件「知人、実施団体からの紹介」29件「インターネット、SNS」17件、その他は12件あり、チラシやポスターを見た、ダイレクトメールで知ったとの回答でした。「広報ひらかた」に毎回掲載依頼をしており、効果があることがわかりました。

今後受けてみたい希望講座

参加者からは様々な講座を希望する声がありました。動画編集、自然系、英会話、手話、古文書、演劇、音読、ヨガ、ピラティス、着物の着付け、スマホの使い方、食育 など

実施団体

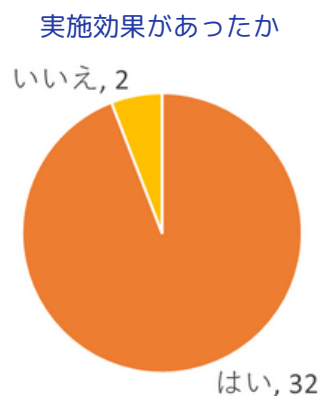
実施効果はあったか？

サプリ村野学校で実施した効果はあったかという問いに対して、「はい」と答えた団体は32団体、「いいえ」と答えたのは2団体でした。

具体的な声としては、「新しい人、場所と出会えた。」「たくさんの人に知っていただけた。」「過去の参加者が、続けて教室に参加しています。」「考えている企画のヒントが得られた。」と、次へつながる前向きな声が多かったです。

得たこと、次に向けた課題

「時間や人数の余裕を持った計画にすればよかった。」「活動やイベントの広報方法を学べた。」「今回で得たものを、普段の活動や次回開催に活かしていきます！」との声がありました。



相談分析

相談対応件数 294件

NPO・市民活動に関する総合情報センターとして、さまざまな団体・個人からの相談や問合せに対応しています。2024年度の対応件数は294件でした。電話での対応が142件、面談対応109件、メール対応38件とその他5件となっています。その他はZoomが3件とLINEとホームページからのフォームが各1件となっています。

対象団体の内訳は図1です。件数及び団体内訳の構成はほぼ前年度同様ですが、今年度の特徴として、小学校区（コミュニティ協議会）の団体が7団体と増えています。

これらの内、市民活動課や行政からのサブリ村野運営に関連する内容と企業からの営業情報などを省いた276件の相談内容を分類したのが、図2です。

全体の傾向としては、法人設立・助成金・ICT・防災の明確なものと相談（さまざまな相談への対応）の合計が33%、問合せが36%、サブリ村野学校・ボランティア体験・フェスタ・井戸端の具体的な事業に関するものが21%となっています。相談・問合せ・事業で9割を占めています。サブリ村野は施設に関するもので、情報提供では大阪ボランティア協会や認定NPO法人イーパーツからのPCや事務機器などの寄贈プログラムの案内です。

今年度は法人の解散についての相談が2件ありました。コロナ禍以降も活動の停滞やスタッフ高齢化など法人維持が難しくなっている所も増えているように感じています。助成金、ICTについての相談が前年度より増え、新しく設けた特定の相談内容に特化した相談日の広報効果がうかがえました。

問合せは、比較的簡単な情報提供で済むもの等とし、問合せ件数が100件を更に分類したものが、図3です。照会は情報の確認・提供、配架はセンターより市内公共施設へのチラシの配布に関するものです。その他では、センターで利用できる機器・備品に関するものが半数を占めています。

図1 相談対象団体内訳

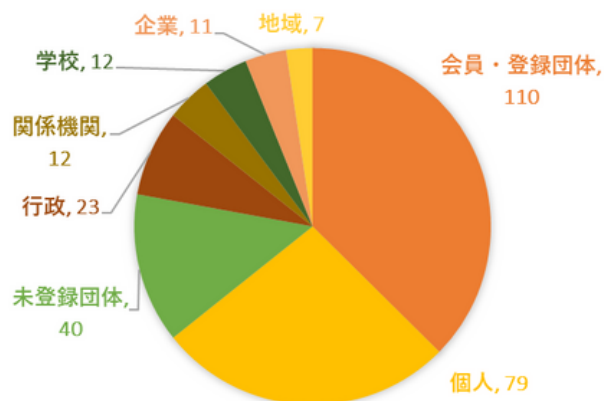


図2 相談内容の分類

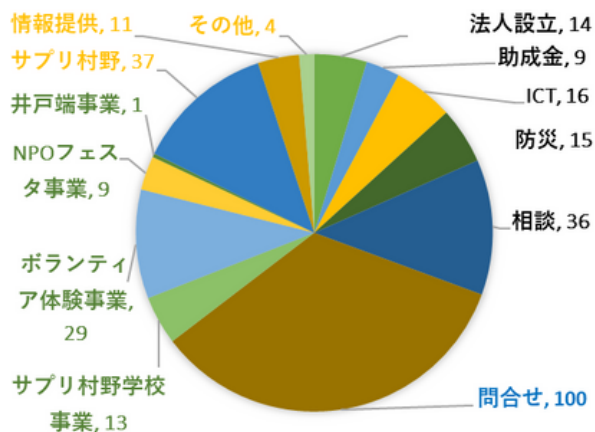


図3 問合せの内容の分類



組 織

会員数 2025年3月末時点

当法人は、会員による総会、役員(理事・監事)による理事会、運営委員・職員による運営委員会、各事業の実行委員を含むボランティアスタッフで各事業を行っております。

会員数	83（内68が団体）
賛助会員数	11（内11が団体）

2024年度役員 50音順 2025年3月末時点

役 名	氏 名	所 属 等
理 事	梅田 壽雄	(特非)ニッポン・アクティブライフ・クラブ NALC「天の川クラブ」副代表
//	大川 洋司	枚方信用金庫 専務理事・地方創生推進部長
//	木崎 大介	(一社)枚方青年会議所
//	高井 啓大郎	(一社)のあつく自然学校 理事長
//	高尾 千秋	(特非)キッズナビわかば 副理事長、ひらかたプレーパーク実行委員会 副会長 (特非)ひらかた市民活動支援センター運営委員
//	竹安 庄平	郷美乃会 顧問、サプリ村野NPOフェスタ2024実行委員長
//	津熊 友子	(特非)ひらかた市民活動支援センター運営委員 図書館フレンズ・ひらかた 代表
//	中川 雄二	みんなでつくる学校とれぶりんか 代表 (特非)ひらかた市民活動支援センター運営委員
//	久 隆浩	近畿大学 総合社会学部環境・まちづくり系専攻 教授
//	藤田 典史	税理士、藤田典史税理士事務所 (特非)ひらかた市民活動支援センター 副理事長 運営委員
//	楨 研吾	コマツユニオン大阪支部 書記長
//	松元 広樹	(特非)ひらかた市民活動支援センター 副理事長 運営委員長
//	渡邊 宏二	(特非)ひらかた市民活動支援センター 理事長 運営委員
監 事	石倉 研	龍谷大学 政策学部 准教授
//	川添 賢史	行政書士、川添国際法務事務所

運営スタッフ 2025年3月末時点

● 運営委員

6 人

● 職 員 （サプリ村野受付、市民活動ネットワークルームで勤務）

常 勤 2 人 非常勤 15 人

ボランティアスタッフ （各事業の実行委員を含む）

● 登録数 38 人

広報物の配送、市民活動ネットワークルームの書類整理や装飾、防災災害支援、ボランティア体験プログラム発送準備、サプリ村野NPOフェスタの企画・運営補助、などで活動



公式Instagramより

会計 第23期(2024年4月1日から2025年3月31日まで) / 単位：円

経常収入

会 費	286,500
寄付金	123,269
事業収益	37,565,670
その他収益	11,283
合計	37,986,722

経常費用

事業費	31,275,467
管理費	5,100,444
合計	36,375,911

当期正味財産増減額 1,610,811
(ふれあいファンドへの繰入予定額 161,000)

今般の物価上昇への対応やより質の高い活動を展開できるよう活動資金の獲得に努めていきます。

財政状況については、資産の大部分を現預金で占めており、健全な状態で運営を行っています。

ひらせんの一年



桜が見ごろに
なってきたよ！



まちづくり井戸端会議
合計 11回



2024.11.16



「春の香り漂う、梅は咲いたか…」



サプリ村野 NPO フェスタ 2024



東日本大震災写真展
「キラクのキロク展」

ネットワークルーム
開所時間の変更

5/24 NPOフェスタ 第1回実行委員会

5/26 総会・懇親会

AED研修

6/5 ソイチャレ2024キックオフ

7/13
↓
8/25 夏のボランティア体験

9/26 ふれあいファンド募集開始

10/20 サプリ村野NPOフェスタ2025

11月
末 ふれあいファンド表彰

3/8
↓
4/5 春のボランティア体験

「特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター 年次報告書 2024」
第23期（2024年4月1日-2025年3月31日）

印刷：2025年5月

編集・発行：特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5-1 サプリ村野内
TEL：072-805-3537 FAX：072-805-3532
Email：info@hirakatanpo-c.net HP：https://hirakatanpo-c.net

公式LINEやSNSでも
情報を発信中です！



公式LINE
@541ppnzn



Instagram
@hiracen_info



X(旧Twitter)
@hiracen_info

Facebook
@hiracen

HIRANPO (ひらんぽ) は、
ひらかた市民活動支援センターの
公式キャラクターです。
NPOや市民活動を応援するため
宇宙からやってきました！

